

構造改革特別区域計画

1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

松本市

2 構造改革特別区域の名称

学都松本英語教育特区

3 構造改革特別区域の範囲

松本市の全域

4 構造改革特別区域の特性

松本市は、日本のほぼ中央に位置し、西に北アルプス連峰、東に美ヶ原高原などの雄大な山々に囲まれた山紫水明の地であり、中南信の基幹都市として政治・文化・経済の中心的な役割を担ってきました。

産業面では、明治末期からは製糸業を主とした近代工業が勃興、大正初年には日本銀行松本支店が開設されるなど県下金融の中心地として発展をみえています。

その後昭和39年の新産業都市指定が転機となって、電気、機械、食料品などの業種を主に発展、最近では精密・コンピューターソフトなどの先端産業も充実してきています。

商業も「商業都市松本」といわれてきたように、中南信地方の中心都市として大きな商業集積を形成しています。

また本市は、近年での「普通選挙運動」発祥、世界から注目を浴びている「スズキメソード」や世界的な「花いっぱい運動」発祥の地であり、ウィーン国立歌劇場音楽監督に就任され世界的に活躍されている指揮者小澤征爾氏による「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」は、本年で13回目の開催となるなど、世界に向け芸術文化を発信する「文化薫るアルプスの城下まち」であります。

教育においては、近代初等教育の先駆けとして、明治6年開学の開智学校や旧制松本高校の招致にみられるように、伝統的に文化と教育を尊重する気風があり、この自然豊かな由緒ある教育風土に根ざした「文化教育都市」への想いが、今日の松本の活力と魅力の基盤となっています。

この「文化教育都市」は松本市総合計画の基本構想2010では、

次代を担う人づくり

多彩な学習と交流の支援

伝統文化の継承と個性豊かな文化の想像

の3点を掲げ、「文化の薫り高く豊かな心を育てる文化教育都市」をめざしています。

この具体的な施策として本市は、アメリカ合衆国ソルトレーク市及びネパール王国カトマンズ市と姉妹都市、中華人民共和国廊坊市と友好都市提携を行い積極的に国際交流に取り組んでいます。

学校教育における国際交流では、平成2年よりソルトレーク市から提携委員会を通じ中学校に外国人英語講師(AET)を採用し、国際理解と英語教育の充実を図り、国際

社会に対応する人材の育成、生きた英語を学び英語によるコミュニケーション能力の育成に努めているところであります。

また、小学校のうちから異文化に接する機会を増やし、英語によるコミュニケーション能力を備えた国際社会に対応できる人材の育成が必要であることから、NHKで小学生の英語学習向けに放送されている「えいごリアン」の視聴や従来中学校に配置していた外国人英語講師について、平成15年度から小学校へも配置し、総合的な学習や特別活動として、英語教育に取り組んでいるところであります。

また、本市では外国人が増加傾向にあり、本年7月現在4,902人と登録人口の2.3%と多く、それに伴い外国人の義務教育就学児童生徒が増加しています。

さらに、周辺4カ村との市町村合併の協議が進んでいて、中南信地区の基幹都市として地域発展をリードしていくためには、これからの国際社会に対応できる、優れた人材の育成が強く求められています。

5 構造改革特別区域計画の意義

本市は、平成6年に全国で49都市が指定を受けた国際会議観光都市として、平成13年に、海外12カ国13都市を招致しての21世界岳都都市会議の開催や、本年6月にはアジア・フィルム・コミッショナーネットワークなどの国際会議の開催など、国際会議観光都市として、益々その重要性を増しているとともに、本市を観光等で訪れる外国人も、平成15年度で1万1千人と多く、国際社会に対応できる人材の育成など国際化の進展に対応した取組みが必要となってきています。

そのためには、公立小中学校における取組みに加え、私学ならではの特色あるカリキュラムの編成により、教育の多様なニーズに対応できるようにするためにも、県下で初めてとなる、私立の小中一貫校の設置が求められています。

この私立の小中一貫校は、「人を育てる」ことに真剣に取り組む学校として、教育目標に「自立心と責任感を高める。」「自己実現力を高める。」ことなどを掲げ、特徴的なカリキュラムとして小学校において英語科を新設し、発展段階に応じ実践を通して使える英語力を身につけ、国際社会に対応できる次代を担う人材を育成することを目指しています。

また、学校が豊かな自然の中にあり、積極的に自然を活用して、協調性、責任感、独立性、チャレンジ精神の育成を図るとともに、小・中学校とも各学年1クラス15人以下の少人数編成によりきめ細やかな指導を行い、豊かな人間形成を目指しています。

こうした私立の小中一貫校が、構造改革特別区域研究開発校として設置されることにより、公立小中学校での教育の参考となり、本市全体の教育水準の向上が図られるとともに、小学校から英語教育への取組みを契機として、関連する国際交流事業が活発化し市全体の英語教育や国際理解に対する市民の関心も高まり、本市の基本構想に掲げる「文化教育都市」の実現に大きく寄与するものと考えます。

6 構造改革特別区域の目標

本市は公立小学校全校において、NHKの「えいごリアン」(3・4年向)、「スーパーえいごリアン」(5・6年向)を視聴し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲、英語音の特徴を身につける能力、話し手の意向を理解しようとする能力等を小学校英語活動のねらいとしています。

また、平成15年度から外国人英語講師を小学校へも配置して、本物の英語に接することを通して、積極的に外国人とコミュニケーションを図ろうとする意欲や、英語で簡単な言いまわしなどを身につけることが出来るよう取り組んでいます。

中学校においても平成2年から外国人英語講師(AET)を採用し、国際理解と英語教育の充実を図り、国際社会に対応できる人材の育成、生きた英語を学び英語によるコミュニケーション能力の育成に努め、基本構想に掲げる「文化の薫り高く豊かな心を育てる文化教育都市」の実現を目指しています。

こうした公立小中学校での取組みに加え、私立の小中一貫の研究開発校を設置し、古くから教育に真摯に取り組んできた学都松本市ならではの、新しい英語教育の枠組みを提案し実証することを目指します。そこで新たに設置する、私立の小中一貫の研究開発校では、小学校での英語カリキュラム、教員研修方法、小学校と連携した中学校英語科カリキュラムの開発検証を行い、使える英語を身につけるための教育システムの確立を図ります。

小学校では、英語科を新設し月曜日～金曜日の毎日、25分間の英語の授業を、フォニックス法をベースに行います。フォニックス法とは「音を繋げれば単語が読める」という綴りの規則性に気づかせながら、自信を持った発音で、一人で英語を読み・書くための基本知識を与えるもので、子どものための英語教育として20年の実績を持っています。

また、土曜日に行う3時限通しの総合学習の時間に、月1回英語のみを用いて、ネイティブスピーカーの指導のもとで野外活動をする授業を行います。日々の練習と土曜日の実践で英語が聞けて話せるようになる楽しさを体験しさらに英語を学ぼうとする意欲がわくことを期待します。

クラスはレベル別に、1A、1B、2A、2B、3A、3Bの6クラスに分け、習熟度に応じて適当なレベルのクラスで授業を受けられるようにします。1A・1Bでは、あいさつや自分の名前が言えるなど積極的に英語を話すことを目標とし、1B修了時に児童英検「SILVER」取得レベルに達することを目指します。2A・2Bでは、表情や身体を使って自分を表現でき、簡単で短い会話ができることを目標とし、2B修了時に児童英検「GOLD」取得レベルに達することを目指します。3A・3Bでは、相手の話す内容を理解・類推でき、簡単でまとまった会話ができることを目標とし、3B修了時に実用英語検定5級取得レベルに達することを目指します。

中学校では、各学年の教科書の内容に加え、ネイティブスピーカーとの会話と文章読解力、作文力の強化を図ります。英語弁論大会、海外への修学旅行など実際に使う機会も数多くあります。中学2年で実用英語検定「3級」取得レベルに達することが目標です。こうした、英語力の向上により、国際社会に対応できる次代を担う人材を育成することを目指します。

学都松本英語教育特区は、こうした構造改革特別区域研究開発学校設置事業及び公立小中学校における、国際理解と英語教育の充実により「次代を担う人づくり」また、関連事業として、高校生姉妹都市派遣事業、外国人のための日本語講座事業及び海外学生の研修受け入れ事業などの「多彩な学習と交流の支援」並びに、新設校における松本大学との連携事業及び牛伏・鉢伏友の会との連携事業などの「豊かな人間性の育成」の3項目に係る、特定事業及び関連事業の計画的な推進を図ることにより、「文化教育都市」の形成を目指します。

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

独自のカリキュラムの有用性を発信することで、市内全域の小中学校での英語教育の方法に一つの方向性を示すこととなります。また、このカリキュラムにより短期間に英語能力の向上が図られれば、小学校からの英語教育の一つの方法として、全国的に波及することが予想されます。

また、小学校・中学校が新設されることにより教職員採用による雇用の創出が図れるとともに、ホームステイ制度など様々な形で地域との交流を通して地域の活性化と経済的効果が期待できます。

教育の成果・効果については、10年後、20年後という長い期間の後に結果が現れることから、長期的に、継続的に優れた人材を輩出することにより、将来、この学校で学んだ子ども達はその能力を十分に発揮することによって、本市のみならず国内外で活躍し、日本経済と社会の発展のために貢献することが大いに期待されます。

8 特定事業の名称

802 構造改革特別区域研究開発学校設置事業

9 構造改革特別区域において実施したまたはその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項 関連事業

ア 公立小中学校における英語教育

本市は公立小学校全校において、NHKの「えいごリアン」(3・4年向)、「スーパーえいごリアン」(5・6年向)を視聴し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲、英語音の特徴を身につける能力、話し手の意向を理解しようとする能力等を小学校英語活動のねらいとしています。

また、平成15年度から外国人英語講師を小学校へも配置して、本物の英語に接することを通して、積極的に外国人とコミュニケーションを図ろうとする意欲や、英語で簡単な言いまわしなどを身につけることが出来るよう取り組んでいます。

中学校においても平成2年から外国人英語講師(AET)を採用し、国際理解と英語教育の充実を図り、国際社会に対応できる人材の育成、生きた英語を学び英語によるコミュニケーション能力の育成に努め、基本構想に掲げる「文化の薫り高く豊かな心を育てる文化教育都市」の実現を目指しています。

イ 高校生姉妹都市派遣事業

昭和55年から商工会議所と連携し、アメリカ合衆国ソルトレーク市へ高校生をホームステイにより英語研修のため派遣（平成16年度15名）し、体験を通じて両市の国際親善を深めています。今後、一層の国際交流推進のため、参加希望者やホームステイ受け入れ家庭の増加を図ります。

ウ 外国人のための日本語講座事業

平成7年度から公民館活動としてボランティアの協力により、市内4箇所の公共施設等で、日本語教室を開催し、市民と外国人の交流を促進しています。

現在、ボランティアで55名の協力により事業を進めていまして、外国人の登録者は、115名と年々増加しています。

エ 海外学生の研修受け入れ事業

平成6年から、姉妹都市提携委員会を通じ、アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学生を、市内企業で実務研修生として受け入れを行い、国際交流の推進を図っています。

オ 松本大学との連携事業

松本大学では、地域においてボランティア活動などの社会活動を行うことで単位を取得することができます。

設置する小中学校で行う野外活動や課外活動に、サポートスタッフとして松本大学の学生に参加してもらうことにより、教育活動を通して学生の社会経験や人格形成につながります。

カ 「牛伏・鉢伏友の会」との連携事業

設置する小中学校近郊の豊かな自然とふれあい、環境を守る「牛伏・鉢伏友の会」の活動と連携して活動を行います。学校を活動拠点として提供することや、児童生徒を活動に参加させることで、地域の社会活動を盛り上げ、豊かな自然を守っていく意識を共有します。

別紙

1 特定事業の名称

802 構造改革特別区域計画研究開発学校設置事業

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

NPO法人児童生徒教育支援協会によって設立される学校法人によって設置される学校

3 適用開始の日

構造改革特別区域計画認定の日

4 特定事業の内容

事業主体

NPO法人児童生徒教育支援協会（長野県松本市井川城1-4-2 理事長山田昌俊）が、学校事業を行うべく設立する学校法人

事業区域

長野県松本市大字内田字地蔵原2575番地11 ほか

設置時期

平成17年4月1日

事業により実現される行為や整備される施設等の詳細

ア 学校法人の設立

学校法人設立認可申請は、本年6月末に長野県教育委員会へ提出し現在審査中です。なお、「構造改革特別区域計画研究開発学校設置事業」の認定後に、県の最終審査が行われる予定です。

イ 小学校・中学校の開設

1クラス15名定員の少人数クラス、徹底した反復練習による基礎学力強化、実体験を通じた思考力・判断力養成、英語・算数の習熟度別クラス編成、周囲の豊かな自然を利用したアドベンチャー教育、よりよい人間関係を築くためのコミュニケーショントレーニングなどを特徴とした、私立の小中一貫校を平成17年4月に開設することを予定しています。

学校設置認可申請は、本年6月末に長野県教育委員会へ提出し現在審査中であり、なお、「構造改革特別区域計画研究開発学校設置事業」の認定後に、県の最終審査が行われる予定です。上記手続の進行と併せて、生徒募集・教育環境整備・教員採用等の開校に必要な準備を進めます。

ウ 小学校での英語科新設

新設の小学校で英語科を新設し、各学年で年間94時数の授業時間を確保します。月曜日～金曜日の毎日、25分間の英語の授業を行います。

年間授業時数および教科別年間時数は下表のとおりです。

英語科の授業時数

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
時間数	94	94	94	94	94	94
1単位時間は45分						

英語科以外の各教科は、学習指導要領に定める時間数以上の授業時間を確保します。

また、小学3年生からの土曜日の総合学習の時間に、「英語の森」と題した、英語のみを用いてネイティブスピーカーの補助教員を交えて野外活動をする授業を行います。

ネイティブスピーカーの子ども達にも参加・協力してもらい、日常生活の様々な場面を想定し、英語を実際に使ってみる体験をします。それを通して、日頃の練習の成果を確認するとともに、さらに英語を学ぼうとする意欲がわくことを想定しています。また、この時間は小学校・中学校合同で活動を行います。中学生が小学生にお手本を見せたり、わからないところを教えるなど、お互いをいたわり尊敬する良い人間関係を築く効果も期待できます。

5 当該規制の特例措置の内容

取組の期間

平成17年度小学校第1学年入学の生徒が、中学校を卒業後の平成26年度に事業について評価・見直しを検討します。

教育課程の基準によらない部分

小学校で英語科を新設し、各学年で年間94時数の授業時間を確保します。

授業は「Everyday English」と題し、月曜日～金曜日の毎日25分間行います。

指導はフォニックス法の研修を十分に積んだ担任教師が行います。

聴覚の鋭敏な低学年では、フォニックス法を用いて、楽しみながらヒアリングと発音の能力を身につけ、高学年では読む、書くことを加え、英語の基礎力をつけることを目標とします。

教育方法として、子どものための英語教育で20年の実績を持つ「松香フォニックス法」のカリキュラムをベースにします。フォニックス法とは「音を繋げれば単語が読める」という綴りの規則性に気づかせながら、自信を持った発音で、一人で英語を読み・書くための基本知識を与えるものです。

一週間の授業内容は下表のとおりです。

授業内容

時間(分)	内 容				
5	Warming Up フラッシュカードを使った発音練習				
5	Hi-Bye を使った発音練習				
15	月	火	水	木	金
	CD、カセットで音楽・お話を聞く、ビデオを見る	アクティビティ	Keypalsを使った会話の練習	絵本の読み聞かせ	アクティビティ

この中で、Hi-Byeとは、フラッシュカード形式で短文の発音練習をする教材。

Keypalsとは、基本的な会話文が網羅された、スキット形式で会話練習のできる教材です。アクティビティについては後述の表を参照下さい。

また、下表のような基準で、1 A、1 B、2 A、2 B、3 A、3 Bの6クラスに分け、習熟度に応じて適当なレベルのクラスで授業を受けられるようにします。

クラス分けの基準

レベル	1 A	1 B	2 A	2 B	3 A	3 B
内容	英語の未履修者	挨拶や動詞を含んだ初歩的な会話(1往復)ができる	話し掛けに対する応答選択や簡単な短い会話(2~3往復)ができる	2A修了者	簡単でまとまった会話(3往復以上)の聞き取りができる	3A修了者

クラスの目標と評価のポイントを下表に示します。また、外部の評価方法として、1 B修了時に児童英検「SILVER」取得、2 B修了時に児童英検「GOLD」取得、3 B修了時に実用英語検定5級取得を目指し、進度の速い児童は実用英語検定「4級」取得を目指します。

各クラスの目標と評価

	目 標	主な題材	評価のポイント
1 A・1 B	<ul style="list-style-type: none"> 歌やチャンツを大きな声で元気に繰り返し、英語の基本的なリズムになれる。 元気に挨拶したり、自分の名前をはっきりいう。 元気に英語で遊ぶ 英語の単語に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ ゲーム 英語の歌 曜日、月の名前 家族 色 数字 食べ物、動物 	<ul style="list-style-type: none"> 積極性 挨拶や動詞を含んだ初歩的な会話(1往復)ができる。

2 A ・ 2 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2～3人で協力して4～6行のス キットを練習し、発表する。もっ と基本的な日常の会話文に親しみ ながらジェスチャーも加える ・ 会話の中で理解できなかった部分 を英語で聞き返すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつ ・ カタカナ語 ・ 持ち物 ・ スーパーの品物 ・ 数字ビンゴ ・ 出身 ・ 地図、国 ・ 飛行機の中での食事 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表情、声、ジェスチャー を使って自分を表現 できる。 ・ 話しかけに対する応答 選択や簡単で短い会話 (2～3往復)ができ る。
3 A ・ 3 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ よく聞き、考えて、理解し、何ら かの答えにたどりつく。 ・ 3つくらいの英文を聞いて頭の中 でそのイメージを作る ・ 一人で5～7行程度の英語表現を 発表できるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイズ ・ 算数ゲーム ・ 自分が知っている単 語 ・ 友達紹介 ・ カレンダー ・ 誕生日 ・ 身のまわりの物 ・ 卒業スピーチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容を理解・類推し、 わかったことを積極的 に表現できる。 ・ 簡単でまとまった会話 (3往復以上)の聞き 取りができる。

授業で行う主なアクティビティ

1A	1B
<p>あいさつの歌 目的 英語のあいさつの歌を歌う。ジェスチャーを加えて明るく歌う。 表現と単語 Good morning. 「おはよう」 Good bye. 「さようなら」 to you 「あなたに」</p> <p>動作をつけてスポーツチャンツ 目的 スポーツについての英文を大きな声でまねする。スポーツのジェスチャーをする。 表現と単語 I play __(baseball / soccer / tennis / basketball / golf / dodge ball). __(ski / skate / jump rope / jog / dance). I do __(sumo / judo / kendo / karate).</p> <p>一週間の歌 目的 一週間の曜日の歌を歌う。体を使ってアルファベットを表すことを楽しむ。 表現と単語 Sunday-Saturday</p> <p>隣のクラスの友だちにあいさつ 目的 元気よくあいさつして、きちんと握手をする。誰でも友だちになる。 表現と単語 Hi! How are you? I'm fine. How are you? I'm okay. Bye! See you.</p> <p>1 - 10 Wow ゲーム 目的 1 ~ 10の数字に慣れる。一緒に笑う。 表現と単語 数字 1 ~ 10</p> <p>一年間の歌 目的 12か月の名前を歌う。日本語は月の名前に数字を使うが、英語は違うことを知る。 準備 一年間が一枚になっているカレンダー 表現と単語 January-December</p>	<p>名前の歌とチャンツ 目的 名前を聞いて、名前を答える。first name(名字でなくて、親からもらった名前をはっきりいう。) 表現と単語 Hello. What's your name? 「名前は？」 My name is ____. 「私の名前は～」、</p> <p>12色チャンツ 目的 色の名前を12色元気にいう。いろいろな物とその色を考えて楽しむ。 表現と単語 What's this color? 「何色ですか？」 red, orange, yellow, light green, green, light blue, purple, pink, brown, black, white</p> <p>家族の歌 目的 家族の名前をいう。動作から意味を考えることに慣れる。 表現と単語 Where is __(Daddy / Mommy / brother / sister / baby)? Here I am. How are you today? Very well, thank you. Run away.</p> <p>アルファベットの塗り絵と歌 目的 歌でアルファベットをいう。普段の生活の中でアルファベットの文字が使われていることに気がつく。 準備 塗り絵の下書き、クレヨン、色鉛筆など 表現と単語 アルファベット A-Z</p> <p>名札を作ろう 目的 ローマ字で書かれた自分の名前に親しむ。ローマ字は外国人も読めることに気がつく。 準備 紙、クレヨン、子どもの名前の見本、札のケースなど 表現と単語 What's your name? My name is ____</p> <p>家族の人数は何人ゲーム 目的 家族には何人いるのかをいう。家族は仲良くするということを感じる 表現と単語 How many people are there in your family? 「家族は何人？」 There are __ people in my family. 「～人家族です」</p>

授業で行う主なアクティビティ

2A	2B
<p>お客様ようこそスキット 目的 お客様にあいさつをする。真心をこめてお客様をお迎える。 表現と単語 Welcome to Saikyo-gakuen elementary school. 「才教学園小学校へようこそ」 This way, please. 「こちらへどうぞ」</p> <p>何を持ってるのスキット 目的 友だちと持ち物について話す。友だちとスキットを考えることを楽しむ。 準備 何か品物(洋服、帽子、マフラー、手袋、文房具、かばんなど何でも) 表現と単語 What's that? This is __. Oh, I see. 「なるほど」 That's great. 「すばらしい」</p> <p>文房具屋さんごっこ 目的 英語で買物をする。店員とお客さんの両方の立場を理解する。 準備 文房具(子どもの持ち物) 表現と単語 May I help you? How much is this? It's 3dollars. Okay. Here you go.</p> <p>先生と3つのQA 目的 先生と3つのQAをする。工夫して質問を考えることの楽しさを味わう。 表現と単語 Can you ski / skate / swim / drive / cook? Yes a little. Yes, I can. No, I can't. Do you like music / karaoke / sushi / steak / coffee? Yes, I do. No, I don't. Do you play the piano?</p> <p>カタカナ語集め 目的 カタカナ語の中にたくさんの英語があることを知る。友だちと協力して集める。 準備 紙 表現と単語 milk, chocolate, butter, cheese, ketchup, mayonnaise, yogurt</p> <p>数字のビンゴ 目的 1～20までの数字を使って遊ぶ。子どもたちだけで楽しく遊ぶ。 準備 Bingo シート(16マス)、おはじき(1人に10個ぐらい) 表現と単語 数字1～20 Are you ready? I did it! 'm lucky! 「やった。ついでる」</p>	<p>名前を聞くジェスチャースキット 目的 ジェスチャーをつけて相手の名前を聞いたり、自分の名前をいう。発表する方は恥ずかしがらずに大きな声で発表し、聞く方は静かに、好意的に聞く。 表現と単語 Hello! What's your name? What's YOUR name? Nice to meet you.</p> <p>どこから来ましたかスキット 目的 「どこから来ましたか」という会話をする。ある国の旗を描き色を塗ることでその国に親しみを感じる。 準備 国旗の本、地図、紙とクレヨンなど 表現と単語 Where are you from? 「どこから来ましたか? I'm from __. Nice to meet you.</p> <p>起きてねスキット 目的 起きるとか寝るとかの英語表現に慣れる。英語で家族の様子を再現して楽しむ。 表現と単語 Wake up. 「起きて」 Okay. 「はい」</p> <p>飛行機の中の食事スキット 目的 飛行機に乗って注文するまねを楽しむ。気分を出してスキットをする。 準備 おぼん、コップ、カップを2つずつ 表現と単語 Anything to drink? Orange juice, please. Apple juice, please. Fish or meat? Fish, please. Meat, please. Tea or coffee? Tea, Please. No, thank you.</p> <p>自分の名前のスペリングスキット 目的 自分の名前のつづり(スペリング)をいう。他の人にわかってもらうためにはっきり、ゆっくりいう。 表現と単語 May I help you? Yes, please. How do you spell that? A-K-I-K-O.</p> <p>クッキーを取ったのは誰ゲーム 目的 英語のリズムを楽しむ。英語のゲームを自分たちで楽しむ。 表現と単語 Who took the cookies from the cookie jar? 「クッキー瓶からクッキーを取ったのは誰?」 You. Who me? 「私だって?」 Not me. 「私じゃない」 Then, who? 「じゃ、誰?」 Yes, me. 「はい、私です」</p>

授業で行う主なアクティビティ

3A	3B
<p>その友だちは誰かクイズ 目的 ヒントをよく聞いて、答えを当てる。友だちのことに 関心を持つ。 表現と単語 This person is __ (a boy / a girl) His birthday is May 5th . He likes __ (curry / to play soccer) . Her favorite __ (sport / food) is __ (swimming / cake) .</p> <p>英語で算数ゲーム 目的 0～20の数字で足し算、引き算、掛け算をして遊 ぶ。外国語で頭を使う経験をする。 準備 0～20までの番号を書いたカード、5～6人に一 組くらい 表現と単語 数字1～20</p> <p>カテゴリー遊び 目的 自分が知っている様々な単語を思い出す。単語 をたくさん知っていることに自信を持つ。 表現と単語 子どもの知っている英単語 colors, fruit, numbers, bus, spaghetti, pizza, schools, teachers, sports, pets, calendar, supermarket, etc.</p> <p>友だち紹介 Show and Tell 目的 英語で友だちを紹介する。友だちを大切にす る気持ちを持つ。 表現と単語 This is __. 「この人は～」He / She likes __. 「この人は～が好き」 He / She has __. 「この人は～ を持っている、飼っている、～がある」</p> <p>数字の Show and Tell 目的 数を使って話をする。他人の発表を聞いて楽し む。 準備 紙、クレヨンなど 表現と単語 I'm __ years old. My phone numbers is __. My mystery number is __. Questions, please.</p> <p>誕生日カレンダー Show and Tell 目的 カレンダーを使って自分の誕生日のことを話 す。自分の誕生日について説明できることに自信を持 つ。 準備 自分の誕生日のカレンダー 表現と単語 This is __. My birthday is __.</p>	<p>それは誰でしょうクイズ 目的 3つのヒントを開いて、答えを当てる。わからない 部分があっても英語はわかるという気持ちになる。 準備 9人の異なった人のイラスト 表現と単語 I am __ (a boy / a girl / a man / a woman) I'm wearing a hat . etc .</p> <p>生き物、うそほんとはゲーム 目的 生き物についての英文を聞いて考える。自分の 判断で True or False のどちらかに行くのを楽しむ。 表現と単語 A __ is __ (a color) . A __ can fly / swim . A __ is a fish / a bird . A __ eats fish / meat . A __ has __ (8 / 6 / 2) legs .</p> <p>カラークイズ 目的 色の名前をヒントとして答えを当てる。英語で聞 いて英語で当てることを楽しむ。 表現と単語 It's __ (color). It's cold. It's __ (a fruit / a truck / a big animal / a vegetable / a car / a flower / a flag) It's in __. (Australia, China, Africa) snow, banana, fire engine, eggplant, kangaroo, carrot</p> <p>略語ポイントごっこ 目的 身の回りにある略語をアルファベットの文字で確 認する。身の回りの英語に興味を持つ。 準備 子どもたちが作ったアルファベットのチャート、お はじきなど(一人の子どもに4個) 表現と単語 L, M, S, NHK, JR, KDD, AD, BC, a.m., p.m., ANA, JAL, BBQ, USA, UK, WC, CD</p> <p>家族の一人を紹介 Show and Tell 目的 家族の一人について英語で話す。他の人の発 表を見て聞いて楽しむ。 準備 紙、クレヨンなど 表現と単語 This is my __ 「これは私の～」 This is my __'s hand. 「これは私の～の手です」 This is his / her __.</p> <p>卒業スピーチ 目的 これまでに覚えた英語を使ってスピーチにまと める。堂々と自信を持って発表する。 準備 何か見せる物があるとよい 表現と単語 I can run / cook / dance / sing very Well. I play the piano / baseball very well. I like "bonbon" dance.</p>

中学校では、各学年の教科書の内容に加え、以下のような教材・題材を用いて文章読解力、作文力の強化を図ります。

学年	文章読解力	作文力	その他
中1	日本語の文章を英訳したものを読んで日本語に訳す。 夏期・冬期休業中の課題図書(英語1000語程度)を読む。	観察記録文(500語程度)を書く。	
中2	子ども英字新聞の中から記事を翻訳する。	英語劇のオリジナルシナリオを作成する。	英語劇
中3	英字新聞の中から記事を翻訳する。	意見・主張を込めた作文(800語程度)を書く。	英語弁論大会 修学旅行(海外)

英語弁論大会、海外への修学旅行、定期的に行うネイティブスピーカーとの交流会などの多くのイベントを通して、実践で使うことで、英語力のレベルや英語を学ぶモチベーションを高めます。中学2年で実用英語検定「3級」取得を目標とするとともに、コミュニケーションの手段として「使える英語」の習得を目指します。

計画初年度の教育課程の内容等

新設の小中一貫校の特徴を以下に示します。

【基本理念】

人間の尊厳を大切にす真のエリート教育を行なう

【教育目標】

- ◇ 自立心と責任感を育てる
- ◇ 他人を信頼し、良好な関係を築いていけるコミュニケーション力を高める
- ◇ 自分で目標を設定して自発的に物事に取り組み、達成していく、自己実現力を高める
- ◇ 感動を体験し、「使命」に生きる生き方を希求する

【システムとカリキュラムの特徴】

- ・ 1クラス15名定員の少人数クラス
- ・ 学習指導要領標準時数の1.24倍の授業時間数によるゆとりと深化の授業
- ・ 徹底した反復練習による基礎学力強化
- ・ 実体験を通じた思考力・分析力・判断力養成
- ・ 英語・算数の習熟度別クラス編成
- ・ 人間の英知と偉人の生き様を毎日順番に調べて発表する発表会
- ・ 周囲の豊かな自然を利用したアドベンチャー教育
- ・ よりよい人間関係を築くためのコミュニケーショントレーニング

教科別年間授業時数を以下に示します。

教科別年間授業時数(小学校)

教科	授業時数											
	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	学習指導	新設校	学習指導	新設校	学習指導	新設校	学習指導	新設校	学習指導	新設校	学習指導	新設校
国語	272	326	280	336	235	284	235	282	180	220	175	210
算数	114	136	155	186	150	180	150	184	150	180	175	180
社会					70	86	85	100	90	110	100	120
理科					70	86	90	105	95	115	95	116
生活	102	119	105	126								
音楽	68	68	70	70	60	60	60	60	50	50	50	50
図工	68	68	70	70	60	60	60	60	50	50	50	50
家庭									60	60	55	55
体育	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
道德	34	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
特活	34	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
総合					105	122	105	126	110	132	110	136
英語		94		94		94		94		94		94
総授業	782	969	840	1042	910	1132	945	1171	945	1171	945	1171

教科別年間授業時数(中学校)

教科	授業時数					
	1年		2年		3年	
	学習指導	新設校	学習指導	新設校	学習指導	新設校
国語	140	168	105	140	105	126
数学	105	126	105	140	105	126
社会	105	126	105	126	85	126
理科	105	126	105	126	80	126
美術	45	45	35	35	35	35
音楽	45	45	35	35	35	35
技・家	70	70	70	70	35	35
外国語	105	140	105	140	105	126
保・体	90	90	90	90	90	90
道德	35	35	35	35	35	35
特活	35	35	35	35	35	35
選択	0	35	50	50	160	180
総合	100	175	105	105	70	130
総授業	980	1216	980	980	975	1205

各学年の年間指導計画および日課を添付資料に示します。

また、計画初年度は、新入学以外に各学年での編入学を認めるため、幼稚園や塾などで英語を学んだことのある子どもと、全くはじめての子どもとで、英語の能力に大きなばらつきがあると思われます。先述の6段階のレベル別クラスに分けて、子ども達ひとりひとりに合った指導方法とします。

本計画と憲法、教育基本法、学校教育法に示す学校教育の目標との関係について基本的には、学習指導要領に準拠し、その内容を深化・発展させた学習を行い、少人数クラスと補習授業による、きめ細かく徹底した指導を行うので、憲法や教育基本法あるいは学校教育法の示す教育目標から逸脱することは考えられません。

また、学習内容や到達後のチェックとして、定期的に信頼性の高い全国規模の模擬試験を受けさせ、万一問題のある場合には、速やかに必要な措置を講じます。